

教団新報

定 価 1部 144円(本体 133円+共 206円)
予約購読料 1年分 千共 5,150円
紙代のみ 3,600円
振替 00140—9—145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
一時移転先 169-0072 東京都新宿区大久保 1-7-18
電話 03(3202)0546、FAX03(3207)3918
URL http://uccj.org
発行人 長 崎 哲 夫
編集主筆 渡 邊 義 彦
印刷所 株式会社きかんし



石巻・日和山より市街地を望む(2015年4月15日)

共に祈り、支えよう！ Let us pray for and support people and the Church together!

東日本大震災救援募金 2011.7～2015.3

全教団的な被災支援取り組み

石橋秀雄

全教団的に 取り組んだ結果

2011年3月13日から4日間の被災地訪問で、津波の凄まじい破壊の地に立ち、祈る中で「わたしたちの助けは、天地を造られた主の御名にある(詩編124編8節)」と示され、帰宅後、ただちに議長声明を書いたが、その冒頭にこの御言葉を掲げた。この御言葉は、バビロン捕囚の苦難の中から生ける主に出会い、断固たる告白に導かれたように、東日本大震災被災支援という重大な課題に取り組み中で、この断固たる告白に導かれることを願ったことだった。

海外募金

世界の教会からも祈りと献金が寄せられ励まされた。世界の教会から3億8770万円の献金が与えられた。この献金と国内募金を合わせて被災者支援を行っているが、3ヶ所の被災者支援センターを設置し、スタッフの献身的奉仕の中で地域の被災者に信頼され

国内募金(2015年3月31日で終了)

被災教区の被害教会・伝道所の報告を受け、復興に必要額を10億円と見込み、被災者支援を含め「5年で10億」との目標を掲げて献金運動をしてきた。当初途方もない目標に思え、その達成が不可能と思える状況の中で、主の憐れみを受け10億731万円(3月31日の献金が与えられた。3月末で募金が終了したが、10億を超える献金が与えられ励まされている。津波と地震による教会の被害とその復興には、多額の資金が求められる。伝道の拠点としての教会の復興は教団の悲願であった。主の御身体なる教会の痛みは、教団全体の痛みであり、そ

救援経験の積み重ねにより迅速に対応

長崎哲夫

また震災直後に「11246祈り時を」と全国の教会に訴えた。重大な課題にまず祈ることから始めたいと願ったからだ。

2011年3月11日金曜日午後2時46分、奥羽・東北・関東・東京の太平洋沿岸一帯を襲ったマグニチュード9の大揺れは、大津波ばかりか東京電力福島第一原子力発電所事故を引き起こした。これによって、目に見えず、音にならず、匂いを嗅がせぬ放射能が四方に拡散して、特に福島県等一帯の海・山・森・田畑・町の全域に及び、深刻な事態を引き起こした。

教団にとっても、それまで関わった兵庫県南部大地震(95・1・17)、新潟県中越地震(04・10・23)、能登半島地震(07・3・25)、新潟県中

越沖地震(07・7・16)を経て、重く深い衝撃としてこれを受けとめた。しかし、教団はそれらへの救援活動の経験の積み重ねもあって、実に迅速な対応を実施した。大震災は我らの教会に何を問うたのか。その意味に真向うことを教えた。

まず、被災の翌日3月12日には、第37回総会期第1回常務委員会が定めた「救援対策基金」に関する運用規定に沿って総幹事のもと災害対応担当幹事が書記となり、教団社会委員長ほか教団幹事3名、計6名で構成した「救援対策委員会」を立ち上げた。

ここでは、①石橋秀雄議長をリーダーとする現地被災状況調査チームを直ちに派遣する。②3月14日付で教団内全教会宛「東日本大震災緊急救援募金のお願い」を社会委員長名で全教会に向けて発信する。③教団の被災教会状況は、新報・信徒の友・ホームページで迅速かつ正確に知らせる。

④「救援対策基金」より被災3教区へ各1千万円を送金するとして実行した。その上で、3月22日に開催された常任常務委員会は、教団救援対策本部(本部長は議長)を立ち上げると共に、それらを承認した。

これに基づき第1回本部会議は、4月4日開催、委員構成を教団三役・5常議員・日本キリスト教社会事業同盟及び宣教学校協議会から各1名の10名とし、世界宣教幹事(加藤誠)を担当幹事として兼任させた。石橋議長は3月23日付で議長声明「東日本大震災、戦後最大の日本の危機に立ち向かって」を発表した。更に本部は、石橋議長名で4月5日「被災地の教会に、共に熱い祈りを」全キリスト教会の11246祈りの会の呼びかけを新報で全教会に発信した。

5月9・10日開催の第2回本部会議は、教団救援活動の基本方針の主題を「地域の人々に仕える教会の再建を目指して(詩編124・8)」とし、被災教会の再建と、教会を通しての被災地域への支援を決定した。教団は被災の会堂・牧師館の復旧再建のための国内教会募金目標を10億円とし、これとは別に放射能被害を受けた教会が置かれた地域の人道支援に国外からの支援金12億円を当てることとし、11年7月・15年3月まで「東日本大震災救援募金」を行なった。当初の「東日本大震災緊急救援募金」は11年6月で終了した。救援活動は17年3月まで実施することを決議した。

教団の救援活動は、本部会議を軸として本格化して行なった。第一に、西早稲田の日本キリスト教会館1階11号室を救援対策本部事務局として開設。室長を中心に初動の混乱整理、被災教会の情報収集・復興支援活動推進・救援募金対策を進めた。第二に、各地の要請に基づき、エマオ台合・

石巻とハートフル遠野(14年度から釜石)に救援センターを設置し、各センターには担当幹事補佐役としての専従者をおいて果敢な活動を展開した。第三は、11年8月29・30日、銀座教会で東日本大震災・原発事故を信仰者としてどう受け止める、語るべきかを問う教団主催のシンポジウム「現代日本の危機とキリスト教ー東日本大震災をとおして問われたこと」を主題に、キリスト教学校・同社会福祉・教会と牧師の立場からの発表及び特別講演を受けた。12年3月27日、石橋議長は、「福島第一原子力発電所事故に関する議長声明」を発表して、原発稼働停止と廃炉処置を求める祈りを教会に求めた。

13年3月11日議長は、「福島第一原子力発電所事故3年目を迎えるに際しての議長声明」を出し、人の命より経済優先の社会ではなく、世界に創造の秩序の回復を求めた。この年13年11月1日、東北教区放射能問題支援対策室「いずみ」の

お知らせ
「教団新報」今号を4819・20合併号とし、4821号は5月30日に発行します。
総幹事 長崎哲夫

開所式が東北教区センターで行なわれ、小西望東北教区議長はイザヤ書12章から「あなたがたは喜びのうちに救いの泉を汲む」を説教し、働きの方角性と決意を述べた。

14年3月11・14日、教団は東北学院を会場にして東日本大震災国際会議を「原子力安全神話に抗してーフクシマからの問いかけ」を主題として国の内外から250名の参加者を集めて開催した。この中で近藤勝彦氏が講演「エネルギー転換のカイロス」で、原発の核廃棄物処理に触れ「信仰と神学の観点から見ても、将来の人類の英知を強調しそれをもって現在の難題に対する打開策とすること」は、現在と将来に対する現在の人間の「責任回避」であり「怠惰」である」としたことが注目された。

また、14年6月9・11日には、若松栄町教会で第4回部落解放センター全国活動者会議が開かれ「原発」という差別ーフクシマの声に聴くをテーマとしてのシンポジウムに、約230名もの参加者があったことも銘記したい。

教団の多くの教会と信徒が心を寄せた全国募金を終了する今日、教団救援活動は一つの節目を迎える。

(教団総幹事)



釜石・お茶っこ生活応援(2015年3月)

回本部会議は、教団救援活動の基本方針の主題を「地域の人々に仕える教会の再建を目指して(詩編124・8)」とし、被災教会の再建と、教会を通しての被災地域への支援を決定した。教団は被災の会堂・牧師館の復旧再建のための国内教会募金目標を10億円とし、これとは別に放射能被害を受けた教会が置かれた地域の人道支援に国外からの支援金12億円を当てることとし、11年7月・15年3月まで「東日本大震災救援募金」を行なった。当初の「東日本大震災緊急救援募金」は11年6月で終了した。救援活動は17年3月まで実施することを決議した。

教団の救援活動は、本部会議を軸として本格化して行なった。第一に、西早稲田の日本キリスト教会館1階11号室を救援対策本部事務局として開設。室長を中心

震災 5 年目を迎え、なお支援を継続

飯島 信

会堂・牧師館復興・
再建支援

(資金は国内募金)
3・11 によって被災し、

負担金減免措置を受けた教会数は 81、その内訳は、奥羽教区 10 教会、東北教区 43 教会、関東教区 27 教会、東京教区 1 教会である。

15 年 2 月 28 日現在、教団からの支援を受けた教会は 29 教会、これから支援を受ける予定の教会は 4 教会、合わせて 33 教会が支援対象となっている。

すでに 4 億 4 6 1 4 万 8 4 2 9 円が執行され、さらに約 1 億 5 千万円の支出が見込まれる。支援と共に貸付を受けた教会は 20 教会あり、その他に貸付だけの幼稚園が 2 園、施設が 1 施設で、貸付総額は 2 億 5 5 5 0 万 5 5 0 0 円である。資金は会堂共済組合から借り入れ、今後 4 教会でさらに約 1 億円の貸付が予定されている。

エマオ仙台・石巻

(活動資金は国内募金と海外の U M C O R、E M S、R C A)

11 年 3 月 11 日から時を置かず、東北教区に被災者支援センターエマオが立ち上げられた。この活動には、

全国から学生・青年を中心としたボランティアが集まり、支援物資の配布、津波に襲われた家の床下の泥のかき出し、廃材の処理などを行なった。13 年度以降は、

エマオ仙台では畑の復興、種まきや収穫の手伝い、石巻では牡蠣の種付けや昆布のメカブ取りの手伝いなどが行なわれている。ボランティア登録者数は 6 6 6 9 名(1・31 現在)に達した。

活動の中心は、仮設住宅で被災者に交わりの場を提供する「お茶っこサロン」に移りつつある。心身ともに疲れを覚えている方々に寄り添うことは、仮設がある限り大切な働きとなる。

ハートフル遠野・釜石

(活動資金は国内募金と海外の E M S、U M C O R、mission21)

12 年 2 月、ハートフル遠野は、釜石市内 4 ケ所の仮設住宅で「お茶っこサロン」を始めた。現在は、ハートフル釜石が 12 ケ所の仮設住宅と 1 ケ所の復興住宅等で活動を行なっている。「お茶っこサロン」を利用した仮設の方々は、延べ 9 1 0 5 名(2・28 現在)である。

震災から 4 年、手芸を中心とした「お茶っこサロン」に加え、仮設住宅周囲の草取り、落ち葉掃きなどの環境整備、個別訪問が始まっている。

こひつじキャンプ

(活動資金は国内募金と海外の U M C O R、E M S、R C A)

12 年 1 月、第 1 回の「こひつじキャンプ」が山中湖で行われた。原発事故による放射能汚染の恐れ、短期間でも保養を求める家族が参加した。13 年 1 月から台湾基督教長老教会からの招待も加わり、Y M C A との共催で 16 回(内 3 回は台湾)を開催するに至っている。

今後、国内外で計 6 回のキャンプを予定している。定員は各回 25 名前後、初めての参加者を優先する。

被災地支援演奏会

(活動資金は国内募金とイスの教会・個人、R C A)

13 年 1 月、第 1 回演奏会を石巻で行なったのを皮切りに、これまで 6 回にわたって行なわれた。訪れた被災地は、石巻、仙台、名取

いわき、釜石、遠野で、演奏場所が教会、スーパー、仮設住宅、幼稚園、保育園、個人宅など多彩である。

2 0 1 5 年度、春夏秋冬 4 回にわたる演奏旅行を企画している。

*



上: 仙台・収穫後の片付け(2013 年 8 月)
中: 仙台・ささこクラブ、地域の方々と(2014 年 12 月)
下: いわき・被災した高齢者施設にて(2014 年 2 月)

各プロジェクトは、祈りによって始まり、祈りによって終わる。祈りに導かれてこそ神様から力を得、託されている働きを担うことが出来るからである。

また、教団が展開する被災地支援活動は、U M C O R (アメリカ合同メソジスト教会海外災害支援部)、E M S (ドイツを中心とした福音連帯宣教会、P C T

(台湾基督教長老教会)を中心に、mission21 (スイス)、R C A (アメリカ改革派教会) によって支えられている。これらの団体や個人などの支援が無ければ、

私たちは今日のような活動を生み出すことは出来なかった。そのことを思うと、海外からの支援への感謝の思いは尽きることがない。(救援対策本部幹事)

▼ 教師検定委員会 ▲

教師を立てることを改めて問う委員会として

第 39 総会期第 1 回教師検定委員会が、3 月 19 日、教団会議室において、委員 7 名全員の出席によって開催された。

冒頭、今総会期から新しく加わった 4 名の委員をはじめとして各委員の自己紹介を終えたのち、長崎哲夫

総幹事からのあいさつを受けた。あいさつの中で、総幹事より、教師検定とそれ

と介を終えたのち、長崎哲夫

32 総会期第 5 回常議員会の議決をふまえ、和解の福音に根ざしつつ、合同教会としての日本基督教団の形成を担う教師を立てることをめざす」との方針を引き継ぐことが可決された。

また、この委員会のもとで行われる 4 回(2 年分)の教師検定試験の日程が検討された。詳細については教団新報の公告で確認してもらうことになるが、ほぼ例年通りの日程となる見通

しとなった。なお、2 0 1 5 年秋季教師検定試験での提出試験となる説教、釈義の聖書箇所には、正教師についてはホセア書、イサヤ書が、補教師についてはイサヤ書、マルコ福音書がそれぞれ課せられることとなった。続いて組織神学論文、神学論文、牧会学のテーマが検討され、それぞれ決められた。加えて、「公告」「受験要綱」の内容が確認された。

後列左より、井ノ川勝、古屋治雄、左近深恵子、佐々木潤
前列左より、服部書記、鷹澤委員長、潮義男

▼ 世界宣教委員会 ▲

在外教師の現状について情報共有の必要

3 月 19 日、教団会議室において第 39 総会期の第 1 回世界宣教委員会が開催された。今総会期に招集された委員は以下の 7 名である。

秋山徹(上尾合同・招集者)、鍋谷憲一(根津、西之園路子(滝野川)、村山盛芳(南山、デイヴィッド・マーチー(宣教協力学校協議会)、長沢道子(日本キリスト社会事業同盟)、吉岡光人(吉祥寺。委員による互選により委員長は秋山委員、書記は吉岡委員が選出された。ま

た、委員長、書記に鍋谷委員を加えた 3 名が常任委員となった。

当委員会のもとに招集される小委員会では次の方々に委嘱することが承認された。

長崎哲夫総幹事から、アジア太平洋フォーラムに教団を代表して出席したことが報告された。欧米の教会にいずれも高齢化、献金額の減少という共通の問題があるという印象を受けたうえで、この課題は日本の教会とも共通するものである

と見えよう。

た、委員長、書記に鍋谷委員を加えた 3 名が常任委員となった。

当委員会のもとに招集される小委員会では次の方々に委嘱することが承認された。

長崎哲夫総幹事から、アジア太平洋フォーラムに教団を代表して出席したことが報告された。欧米の教会にいずれも高齢化、献金額の減少という共通の問題があるという印象を受けたうえで、この課題は日本の教会とも共通するものである

と見えよう。

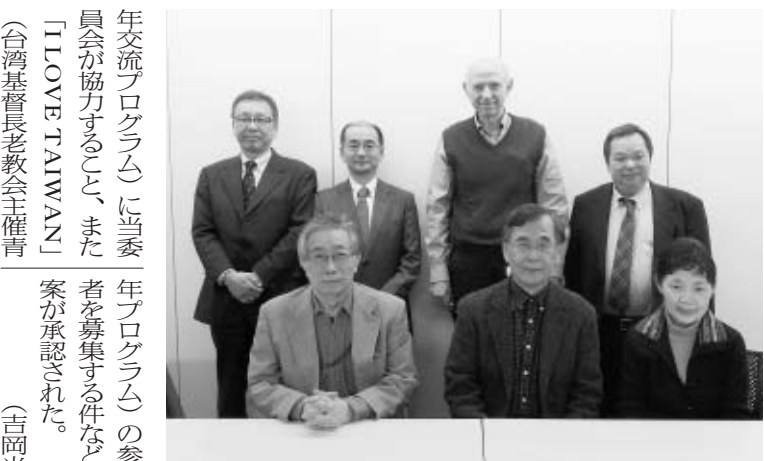
と見えよう。

と見えよう。

と見えよう。

と見えよう。

と見えよう。



後列左より、村山、吉岡書記、マーチー、加藤幹事
前列左より、鍋谷、秋山委員長、長沢

年交流プログラム)に当委員会が協力すること、また「LOVE TAIWAN」(台湾基督教長老教会主催青

年プログラム)の参加希望者を募集する件などの諸議案が承認された。

(吉岡光人報)

福島教会献堂式

ここに子どもがいます

東日本大震災で被災した福島教会の新会堂献堂式が3月21日、県内外から143人が出席して行われた。鍾樓の「作新人の鐘」を鳴らして献堂式は始まり、「ここに子どもがいます」と題した説教で、似田兼司牧師は、「大震災の年の末に着任した時、福島市には子どもの顔が見えず、声が聞こえなかった。日曜学校も1年間休校せざるを得なかつた」と語った。

福島教会は、1886年創立、129年目を迎える由緒ある教会で、旧会堂は1909年、来日3年目のヴォーリスが日本で最初に設計した教会建築。2001年、国の登録有形文化財に指定されていた。大震災で煙突が崩落し、鍾樓が傾き、会堂に傾斜と亀裂が生じたことから、県・市から「立ち入り禁止」勧告が出た。同月、会堂は取り壊された。

感謝会で、雲然俊美教団書記は、「震災後、福島教会の祈禱会に出席した時『祈りの家を建てさせて下さい』という女性信徒の祈りに胸が熱くなった。会員の労苦と祈りを神が見守って下さった」と語った。

小西望、東北教区議長は、「東北教区86教会のうち、7割の教会が何らかの被害を受け、19教会が再建・補修を余儀なくされた。大震災から4年、もう4年という思いと、まだ4年という思いがある」と被災教区の心情を吐露した。

献堂式開始の合図となつた作新人の鐘は、1914年、米国の教会からの献金で造られ、旧会堂のシンボルとなつて来た。第2次大戦中、供出させられたが、溶かされることなく終戦を迎え、米軍の戦利品として米国に送られた。米国で教会の鐘であることが判明し、46年11月に教会に送り戻されたという経緯がある。会堂が新たになった今、電動式となったが、鐘は、ヴォーリス設計の旧会堂から受け継がれた。



ヴォーリス設計の趣を残す新会堂

▼将来構想検討委員会

取り扱い事項を整理する

第2回将来構想検討委員会。幹事の陪席があった。長崎会は、3月20日、委員長の開会祈禱にはじまり、教団会議室において開催された。委員長の許可を得て、発言があり、委員会の議事進行は活発に進められた。

まず、書記より第1回議事録案が朗読され、設置目的の確認にはじまり、各委員の発言要旨、今後の進め方などについて確認し、記録を承認した。第1回は主に自由討論を中心として、扱う可能性のある個別のテーマとその意味について、各委員がそれぞれの意見を述べることをした。また、ランドデザインの構築とそれを単に机上の理想論に終わらさないためのロードマップ作成の重要性が共通認識となった。

▼宗教改革500周年記念事業準備委員会

事業目的にさらに2点を追加

3月17日、教団会議室において第2回宗教改革500周年記念事業準備委員会が開かれた。出席者は、委員長方針に沿って、今後取り扱うべき事項についての整理を開始した。議論をリードする小テーマが複数提起され、委員がそれぞれを担当し、次回以降、これらについて扱うことで、意見

恒委員長より、宗教改革500周年を記念してのルーテル教会とカトリック教会による共同文書『争いから交わりへ』(教文館、2015年、原題『From Conflict to Communion』)が紹介された。改めて宗教改革史を共に振り返り、(対抗宗教改革)によって日本にキリスト教が宣べ伝えら

れたこと、宗教改革が清教徒を新大陸へ送り出し、さらに日本へのプロテスタン・ト・キリスト教伝搬に重要な役割を果たしたことなどを再確認した。

そして、日本基督教団が「宗教改革の福音主義の伝統に連なる」教会として、宗教改革500周年を、神を誉め讃える機会として記念する」と共に、日本伝道、世界伝道への献身の思いと祈りを結果するために諸事業を行うことを再確認した。

協議内容は以下の通り。

①当委員会の会計に中寫を提出した。

②「記念事業方針」の内容容について協議した。宗教改革500周年記念」を日

本基督教団が記念する理由と、諸事業を行う目的について、第1回委員会で確認したことのほか、さらに次の2点を加えることとした。

(イ)日本の社会全体に向かつて宗教改革的福音を証しし、キリスト教会が分裂ではなく一致を目指して結果しようとしていることを広く示すチャンスとしてこの機会を生かす。(ロ)宗教改革が日本のキリスト教伝搬に果たした重要な役割を再確認する。

③「記念礼拝」のあり方、準備について。

④今後の実行委員会の組織化、手順及び日程等種々意見交換をした。

教団総会や教区総会においても記念行事を行い、日本への福音伝道を共に感謝する機会をもつことを考えていきたい。

(杉森耀子報)

第20回 全国牧師夫人の会

テーマ 共に歩む幸い～主の導きを信じて～
牧師夫人が笑うーその道を求めてー

- ◎日時 2015年8月25日(火)～27日(木)
- ◎会場 東京 晴海グランドホテル
- ◎費用 申込金 3,000円(申込者全員)
参加費 2泊3日 30,000円
1泊2日 16,000円
日帰り 3,000円(他プラン有り)
- ◎定員 70名 牧師夫人(隠退・逝去・教務教師・宣教師)、牧師の夫、婦人信徒等
- ◎申込・問合せ 全国教会婦人会連合 牧師夫人研究委員会(電話 03-3203-4258)

事務局報

藤木正三氏(隠退教師)



補教師登録
黒河内信、佐藤栄一
(2015.2.28受允)

正教師登録
石丸泰信、川上咲野
小泉麻子、小林美恵子
(2015.2.28受按)

教師異動

利別 辞(代)相良展子
〃 就(主)石橋隆広
〃 就(担)石橋香代子
山谷 辞(代)倉橋康夫
〃 就(主)滝 栄子
早稲田 辞(担)長尾有起
西が丘 就(代)小柳伸顕
柏木和宣氏(隠退教師)
韓国基督長老教会



15年2月23日逝去、81歳。
群馬県に生まれる。58年に同志社大学大学院を卒業、同年より尼崎、摂津三田、琴浦、紫野、倉敷教会を経営し、03年に隠退。05年に復帰し、湖山、平安教会の代務を務め、09年に隠退。遺族は妻・柏木耿子さん。

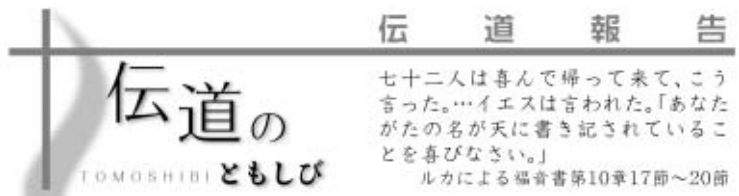
就(外)長尾有起
姫路栄光 辞(代)石原 等
〃 就(主)朴 光用
ユニオン日本語教会 就(外)西川晃充
ラテロリア教会 辞(外)知花スガ子
中村町辞兼担知花スガ子
〃 就(担)知花スガ子
女子聖学院中学高校 辞(教)阿部洋治
聖学院大学就(教)阿部洋治
青梅 辞(主)有馬歳弘



登美丘教会は大阪府堺市大野に位置します。1933年(昭和8年)、旧日本基督教会河南教会(現在の河内長野教会)の牧師・信徒が大美野に青空日曜学校を始め、そこに集まった母親たちの聖書集会から教会が誕生しました。更に遡ると、大阪・奈良・和歌山の各地に福音の種を蒔いた「わらじ履きの宣教師」ヘール先生の働きを忘れるわけにはいきません。一昨年、教会創立80周年記念事



上、教会の方々と(右筆者)下、全面改修の成った会堂



信仰の先達の蒔いた種を今の時代に

登美丘教会牧師 井上 啓史

業として教会堂及び牧師館の全面改築を行い、新しい思いで歩み始めたところ。人間の思いを超える主の御業に驚き感謝すると共に、篤い祈りと献金によりご支援下さいました全国の諸教会・兄弟姉妹の皆様がこの場を借りまして心よりお礼を申し上げます。

主が与えて下さった器を、主の御業のために十分に用いさせて頂くことが私たちの祈りです。教会堂が地域にあつて、礼拝・伝道・教育・牧会の諸機能を十分に発揮するために中長期的展望と具体的な計画が求められます。

数多くあります。昨年夏、念願の教会ホームページを立ち上げることでできました。内容は簡素なもののですが一歩前進です。地域へのチラシ配布もマンパワーの限界がありますので貴重なツールです。一人の新来会者が礼拝に定着し、求道者となり、洗礼に導かれるまで、多くの祈りと時間と忍耐とを必要とします。牧師だけでできることではありません。長老も教会員も皆で祈り関わります。高齢者施設で生活する方、長期欠席の方への訪問や、電話や手紙による相互牧会も、主にお任せする地道な愛の働きです。

教会で信仰を育てられ、信仰告白をした子がこの春、中学校に入学します。クラブや塾等の中で、長期的に教会につながる欲しいというのが切なる祈りです。その他、教会学校に地域の子どもが一人でも二人でも定着すること、乳幼児連れの家族が母子室(補助礼拝室兼分級室)を活用し礼拝に定着することを祈っています。

今秋より牧師が隣接教会と兼務となり、毎主日午後の礼拝のため、長老会・教師会等を週日に移しました。その分、教会員が朝の礼拝だけに集中することができるようになったことは、思いがけない恵みです。地域の2教会が、場所は違っても、一つの主の体・福音の拠点として、共に礼拝を守り続けて行けるよう祈り合っています。

最後に、「人が一人で行るのはよくない」と言われるように、各個教会・教師も孤立して立ち続けることは困難です。地域内の教会同士、教師同士の相互研鑽と励ましの場は大切です。私自身、教団検定試験Cコース出身ですが、牧会の現場に出てから現在に至るまで、諸先輩方や同労者から多くのことを教えられ、育てていただいていることを感謝しております。

公告

教師検定委員会では、教師検定規則第6条⑥に基づき、同規則第3条6号対象者(所謂Cコース受験者)に対する認定面接を左記のように実施します。

2016年春季試験以降に新たにCコース受験を志願される方は、本委員会の指定した書類を2015年7月24日(金)までに提出いただき、左記日程の面接にご出席ください。なお、面接要領・提出書類用紙については、百円切手を同封の上、本委員会事務局に直接お申込みください。

記

★認定面接

日時 2015年9月17日(土)15時より(予定)
場所 大阪クリスチャンセンター

なお、認定面接予定者には、書類受付後、通知を送付します。

2015年4月25日

日本基督教団教師検定委員会

〒169-0072

東京都新宿区大久保1-7-18

アサヒニューシティビル4階

電話 (03) 3202-10546

在日大韓基督教教会主催

「マイノリティ問題と宣教」国際会議 募金のお願い

聖名を崇めます。

2014年に、日本基督教団と在日大韓基督教教会(KCCJ)は、協約締結30周年を迎えました。このたび、社会委員会では、KCCJが主催する、第3回「マイノリティ問題と宣教」国際会議のための募金の協力をいたします。皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

2015年4月20日
日本基督教団社会委員会
委員長 芳澤 信

◎募金期間 2015年10月末迄
◎目標額 200万円
◎送金先 日本基督教団社会委員会
《郵便振替》
00150-2-593699
通信欄に「マイノリティ国際会議募金」とお書きください。
〒169-0072 東京都新宿区大久保1-7-18 アサヒニューシティビル4F
日本基督教団社会委員会
(電話 03-3202-0544)



木村みやまさん

「あめなるよろこび」の中で



茨城県水戸市生まれ。静岡教会員。

結婚式を終えて家に帰るや否や、夫木村栄寿牧師は座って下さい」と言い、「あなたの御言葉はわたしの道の光 わたしの歩みを照らす灯」(詩編119:105)を読み、「あめなるよろこび」を歌った。このようにして結婚の日々は始まり、この御言葉と讃美は夫が召された今も自分の存在を貫いている。

水戸の借家園近く生まれ、3歳の時に「子ども会にどうぞ」と招かれて、兄姉と一緒に行った先が教会学校だった。その体験があるので、戦後、社会も自分も揺れ動く中、教会に飛び込むことができた。水戸教会で受洗。

結婚後には、教会に、また静岡英和女学院の教務教師として遣わされる夫と共に歩んだ。

どの教会においても、忘れがたい経験がある。教会の中での試験や争いも幾度も経験した。しかし、それを超える不思議な主の導きをいつでも与えられてきた。語りつくせない思いの中で、佐渡教会の大雪の日のことは今も鮮やかに思い出す。礼拝の定時に、誰も来ることできない。夫である牧師と二人待ち続ける中、時計は12時を過ぎる。二人で祈り、礼拝をささげようと考えていた時、教会の扉が開き、5つの人影が立っているのが見えた。普段でも徒歩20分の距離を、御言葉を聴くことを胸にどれほどの時間をかけてやってきたのだろう。共に礼拝

「神様から見たら小さな器でしかないものなのに、神様は今でも用いてくださる。今までも幸せな歩みであったし、今はもっと幸せ。」

北米諸教会訪問

1月末から2月初旬の2週間、2004年の解散以来疎遠になっていた旧日北米宣教協力会(JNAC)関係諸教団をトロント、ニューヨーク等、何処へ行っても連日零下10度のなかを訪問して回った。此処では、関係者との旧交を温め何よりも3・11の東日本大震災への見舞いと協力への返礼、国内キリスト教学校と教会への各教団派遣の宣教師41名と教団から関係教会への派遣宣教師7名等、更なる相互の関係強化の確認、後藤健二さんへの弔意を受けたことへのお礼を申し述べた。

この公式訪問の動機となった

り上げられた。1970年代終盤JNACに在日大韓基督教教会も参入した前後、NYのストニーポイントに出席したことがある。あの時代の教会と今は何が変わったか。NYリバーサイド475のク

「アジア太平洋フォーラム」(APF)は、マンハッタンにある国連関係チャーターセンターで行われた。テーマは、今や先進諸国共通の使命「青年伝道」であり、最近目立つ教会青年の自殺問題等も取り上げられた。1970年代終盤JNACに在日大韓基督教教会も参入した前後、NYのストニーポイントに出席したことがある。あの時代の教会と今は何が変わったか。NYリバーサイド475のク

(教団総幹事 長崎哲夫)